



<b>東京部会(第35回)</b>	
日時:	2011年1月25日(火)19:00-21:15
場所:	日本大学経済学部3号館(図書館)4階会議室
参加者:	篠原(同志社大)、加藤(日大)、小巻(日大)、土井(日大院)、新井(小石川中等教育)、杉田(千葉西高)、高橋(桜修館中等教育)、升野(大妻中高)、山崎(北海道豊富高)、榊原(東証)、石山(東証)、鬼塚(日本ファイナンシャルプランナーズ)、中沖(清水書院)、神尾(第一学習社)、宮尾(筑波大)[順不同]
<p><b>【内容要旨】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 篠原先生より、ワークショップについて、すでに1月9日に福岡で開催した件、および今後の予定として、2月5日に鹿児島で、2月20日に札幌で、2月25日に宮崎で、さらに3月25日には那覇で開催の予定であるとの報告があった。</li> <li>2. シンポジウムが4月2日に日大経済学部で開催予定であり、入試問題の評価に焦点を当てて、講演者もそれに沿って選ぶこととなった。</li> <li>3. 「経済セミナー」の連載について、新井先生より4・5月号用のドラフト「中高の経済教育は今」が配布され、その内容についてコメントがあれば新井先生まで至急送るよう要請があった。さらに今後の執筆者のリストの紹介があった。</li> <li>4. 入試プロジェクトについて、新井先生より報告があり、個人の分析はほぼ完了し、改善提案のための候補大学・学部を出し、担当者がそれぞれ提案を持ってくること。それらを3月一杯でまとめて、4月初めに報告会を開催する予定とのことであった。</li> <li>5. 今年8月の夏休み経済教室については、今のところ1-2日が名古屋、4-5日が福岡、8-9日が大阪、11-12日が東京(中学)、さらに17-18日が東京(高校)で、東京の会場は東京証券取引所の予定。内容については、昨年と同じにならないように工夫が必要で、例えば歴史や地理の先生用の経済学の解説などを考えることも提案された。より具体的な内容は次回までに確定することとなった。</li> <li>6. センター入試の分析について、まず宮尾より「現代社会」の問題がすべて経済学的にみて物足りない点と、むしろ歴史や地理の問題のなかで経済学的内容のものが散見される点が指摘された。さらに新井先生が「政治経済」について、全体として意欲的どころが目につき、需給曲線の読み方、リカード理論、ゲーム理論、ローレンツ曲線など分析道具を使った理解度を試す問題があり、工夫の跡が見られたとの評価がなされた。ただし、保護主義を唱えるリストの主張を知らないと答えられないような問題に対する疑問も提示された。</li> <li>7. 篠原先生より、奈良学園高校の山本先生が作成した「ゲーム教材の項目候補」のリストが配布され、今後具体的に検討することになった。これは、高校レベルでの経済の授業にもっとゲームの教材を取り入れてもいいのではないかとの意見があったからとのことであった。</li> <li>8. 宮尾より、『日本の農林水産業』(八田達夫、高田眞著)の紹介があり、「効率化政策」の重要性が強調された。また、中高生が経済学の基本を学ぶ際の参考として、三田学会雑誌の宮尾論文「MIT 留学中にサミュエルソン教授から学んだもの」および清水書院の高校生向け冊子に載ったウィリアム・コマナー教授の「経済学を教える視点」が配布された。</li> </ol> <p>(文責:宮尾尊弘)</p>	
<p>次回開催予定: 3月4日(火)19:00~21:00、日大経済学部3号館4階会議室。</p> <p>主な議題としては、4月のシンポジウムの内容と8月の経済教室の内容について具体的な検討を行う</p>	